

令和5年
海洋教育「結ぬ海科」カリキュラム
評価



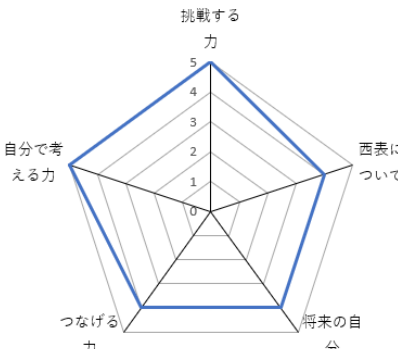
竹富町立 船浦中学校

評価の工夫

「持続可能な社会作りに資する教育活動で重視する能力・態度」がどのように変容しているかを評価するために、「船浦中学校海洋教育ルーブリック」を開発した。

船浦中学校 海洋教育 ルーブリック

3 年	1 番	氏名 ()
-----	-----	--------



○どのような場面で、自分は頑張れたか。

西表島の海の現状を知り、これからどうするかなど課題解決の方法を考えることができた。

○海洋教育でできるようになりたいこと

西表の海を守っていくための課題解決のために自分の日常生活を見直し、自然のためにエコバック、マイ箸、マイボトルを常備しておきたい。

船浦中学校 海洋教育ルーブリック

それぞれの能力・態度には、評価内容が5点記入されており、生徒は当てはまることを自己採点することにより、学期ごとの振り返りを行う。自己評価した数値は、チャートにまとめ、自分が努力したところ、もっと学びたいことを記述するよう指導を行っている。

これらの過程で、生徒は自分の成長や変化を確認し、次の課題へ進むことができるようにする。

 船浦中学校 海洋教育 ルーブリック 	
() 年 氏名 ()	
自分で考える力	1 身近な海を自分の置き、その価値を高めることができる。 2 なぜ、そのようになっているのか、学習したことや経験を結びつけて、考えることができる。 3 他者の考えから、自分の考えを見直し、気づきを得ることができる。 4 課題解決に向けて、1つの方法ではなく、複数の方法を考えることができる。 5 楽しい未来のために、何をどうするべきか考えることができる。
つなげる力	1 友人や地域の方々と学ぶことができる。 2 課題解決に向けて、友人や地域の方々と協力しながら積極的に取り組むことができる。 3 課題に取り組む中で、自ら発言したり行動することができる。 4 友人や地域に様々な貢献をすることができる。 5 よりよい未来のために、日常生活を見直し、積極的に行動することができる。
挑戦する力	1 責任を持って、自分ができることは自分から進んで取り組むことができる。 2 自分の長さを生かして、友人や地域の方々と協力することができる。 3 方法を工夫して自分たちの考えを発信することができる。 4 自分たちの生活を未来のことを考えて、見直し行動することができる。 5 皆で協力すれば大きなことを成し遂げることができる。
西表について	1 西表島に、誇りと愛着を持っている。 2 西表島の真実と未来に預けたいものを理解している。 3 西表島の課題について理解している。 4 西表島の課題解決の方法を学ぶことができる。 5 西表島を守っていくための課題解決に向けて行動することができる。
将来の自分	1 「持続可能（海洋教育）」で学んだこと、できるようになったことが将来役に立つと思う。 2 多様性を認め、助け合うことができる。 3 自分の将来を置き、学ぶことや働くことの意義を理解できる。 4 自然や社会、世界のよりよい姿を理解し、その意義を理解している。 5 持続可能な社会作りの一員として貢献し、行動することができる。
○どのような場面で、自分は頑張れたか。 ○海洋教育でできるようになりたいこと	

船浦中学校 海洋教育ルーブリック 項目

【2学期の結果】

1年生



2年生



3年生



項目	1年生平均			2年生平均			3年生平均		
	令和3年	令和4年	令和5年	令和3年	令和4年	令和5年	令和3年	令和4年	令和5年
自分で考える力	2.4	3.0	3.4	3.4	4.2	3.9	4.4	4.5	4.4
つなげる力	1.7	2.0	2.6	2.9	3.9	3.7	3.8	4.2	4.2
挑戦する力	2.3	3.1	3.6	3.4	4.3	4.2	4.5	4.8	4.8
西表について	2.3	3.1	4.1	2.9	4.4	4.1	4.5	4.5	4.5
将来の自分との関わり	2.1	2.7	3.1	2.9	4.4	3.6	4.5	4.1	4.4

【生徒のコメント（抜粋）】

事後学習（サンゴモニタリング）

今日、モニタリングをして、2つ気づいたことがありました。1つ目は、自分達が調べた場所に、ウニがいたということです。2つ目は、他のチームが調べた場所を交流することで、温度の変化のちがいや、サンゴの種類のちがい、が分かりました。こうやって、今の海の様子も知ることで、ちがいも共通点も知ることができました。来年は2回目になるので、積極的に調べて未来への参考にしたいです。

西表の海を知った上で、次回へのチャレンジする力

事後学習（サンゴモニタリング）

もっと各グループで調べる範囲を効率よく分けて、広い範囲を調べた方が面白い。テンタが小さくなくて良くなると思いました。また、Aグループの左側がサンゴが少なく、水温が高いのは、波の力でサンゴがなくなっていて地が見えやすくなったから。こに太陽が直接あたったから水温が上がったと思いました。もしくは、そこだけ深くなっている波も強くなる、深くて太陽の光が当たらないのでサンゴが育たなかったのかなと思いました。もっと、細かなサンゴの種類を調べた方がいいと思う。

疑問を持って問題を確かめ新たな考え次への行動力

事後学習（体験ダイビング）

またこの島に来たいと思、アタラシきためには西表の美しさを保つ。
 二枚以上の島を汚さないようにする。そのために、ビーチクリーン活動が
 今も、モエタリナビーチからも続け、島(海)にフタをかける。

西表の海を知った上で、これから考えて行動し、島の魅力をさらに学び、保ちたい。

事後学習（体験ダイビング）

[illegible]

魅力を、色々な人に発信

事後学習（海と船の教室）

僕が今日の講話を聞いて思ったことは、身近にある海が自分たちの生活に大きく恩恵を与えているかということでした。日本は、海運に支えられている国だということに気付きました。

また、学んばローワークを活かして、自分の生活を少し便利にできたらしいなと思いました。そして、今日は初めて船のことについて知れたこともあったので、本当に良い機会だなと思いました。

海と暮らしの関係性を知った上で、
未来を考えて行動したい

事後学習（筏下り）

降り下りを経て、初めには感じなかった 浦内川 の水に「ア」として意識させられました。
 また、降り下りを通じて、チーム協力することによって「ア」があらわにされた。
 そして、西条島の自然を感じ、「ふたごの川」で子どもたちが「ア」を感じた。最後に、今回の降り下りに対して、
課長の人の支えがあった ということを知りました。感謝に学校生活に活かしたいと思います。

島の魅力の再確認、人々の支えに感謝

事後学習（筏下り）

〈感想〉

最後の三人行事の筏下りは、西表島の自然の豊かさと、地域の方々の協力に
改めて気づくことができた。だから、今感じたことも島立ちをしても伝え続けたいと思った。

島の魅力に気づき、
自分で説明できるようになりたい

事後学習（マングローブフィールド学習）

渡辺先生の話も聞いて、学んだことはマングローブの種類、
それぞれぜんぜん違う育ち方なんだということだ。
例えば、3種類のマングローブの葉がまた違ったことだ。
葉の裏のゴツゴツ感も違っていたことだ。そして印象に残っ
た。また、マングローブの高さもそれぞれで、その高さを変える根も
マングローブの高さと同じくらいあるということに私も気づきました。
川の流れるも、川と川の間、川と川の間、流れる場所が変わって不思議
でした。

渡辺先生、今日は、船中泊のためにマングローブ、フィールドワークを開いてくださりありがた
うございました。普段見慣れたマングローブですが、今回体験してみ、マングローブに対する思いも
変わりました。私達、島のマングローブは自然で守られていると思っていました。
また、お忙しい中本当にありがとうございました。

見て
知って
感動
思いを深め
守りたい

事後学習（ビーチクリーン）

今回のビーチクリーンを通い、前回やるときよりも
ゴミの量、沢山あると感じました。そのことから、いままで
自分の生活を振り返る必要があると感じました。
島立ちまでの間で、あと何回ビーチクリーンかでは
わかりませんが、今の自分に出来ることは何か、
考えていきたいと思っています。そして、海だけでなく、陸も
きれいに保ちたいと思ったことから、普段から朝の朝ごはん
や清掃の時間も大切に、目を背けることなく頑張りたいです。

自分たちのく
らしの見直し
未来につなげ
る行動力

海洋教育を通して

Q 結ぬ海科を通してできるようになったことは何ですか？

1年生

色々なサンゴの種類があり、去年より少なくなっているように感じた。

2年生

中央から右側にかけて水深が深く、元気なサンゴが多かった。場所との違いはなぜか、さらに範囲を広げて調べ、他の場所と比べたい。

3年生

海の現状を知りグループで課題をまとめ、複数の考えを共有することができた。昨年との比較し、新たな疑問を持って、調べていきたい。また、島を出ても、魅力を伝えていきたい。

事象のみ

問いを持ち、考えの共有、他との比較

他との比較、昨年との比較、新たな疑問、島の魅力

海洋に関する学習の積み重ねが、持続可能な社会作りの一員としての自覚、具体的な行動力の育成につながっている。また、島を愛し、守って、伝えていこうと「15の島立ち」を前に島への誇りが育まれている。

海洋教育を通して育まれた資質・能力（1・2学期）

好奇心と探究心について



自然の摂理や自然現象についての興味関心、探究心の向上がみられた。

答えのない問いに対して、協働的な学習について



グループで課題に対応することで、自分の意見や考えを安心して出し合うことができ自己有用感の高まりにつながった。

自然事象の道理を考える力、説明する力について



自然について説明することで必要な言葉の学習や、根拠、仮説など自分の考えを深め、表現しようとする力が身に付いた。

地域の一員として



自分たちの海を自分たちの手で守らなければいけない、という海を守るための具体的な行動力、海洋に対する当事者意識の涵養につながった。

海洋教育を通して育まれた資質・能力（3学期）

表現する、伝える、発信するための ICT活用能力

今年度は発表担当校として
1/18
町海洋サミットに参加

奄美・徳之島・本島北部・西表島
4地域とのWeb会議
2/26

海洋に関する学びをまとめる場面において、また他校と交流する機会を通して、ICT活用能力を向上した。

他校や他県との海洋に関する学びを交流する機会を通して自分たちの学びをまとめ、伝える力を身に付けることができた。

【技術・情報】

○伝える目的や内容に適した文章の種類を選択し、構成や表現を工夫して書く

グループごとに「西表島」、「サンゴ」、「フィールドワークで調べた内容」、「サンゴに関する問題点」、「私たちができること」などのカテゴリーに分かれ、学んだことや、環境を守っていくために必要なこと等をインターネットを通じて発信し、自分たちの学びや思いを表現している。

サンゴ礁に囲まれた島。

沖繩本島から458km、東京から約2000kmの場所にあります。亜熱帯に属しており一年中過ごしやすい気候になっています。そんな西表島は現在16の集落があり、約2400人の人々とたくさんの動植物が生活しています。絶滅危惧種のイリオモテヤマネコや天然記念物のヤマルハコガメ、カンムリワシなども生息しています。2021年7月26日に「奄美大東、徳之島、沖縄本島北部および西表島」が世界遺産に登録されました。



船浦中学校

海洋教育「結め海科」サイト QR コード